

# 北海道自家用新聞

発行所

北海道自家用自動車協会連合会  
編集兼発行人 辻 澤 英 隆  
札幌市東区北三ノ条一丁目(郵便番号005-0003)  
電話 (011)721-4578

## ナンバー封印不正防止へ説明会や解説動画

### 国土交通省 法改正も視野に

自動車ディーラーなどでナンバープレートの封印業務に不適切な事実があったことを踏まえ、国土交通省は再発防止に向けた取り組みを始め、「封印取り付け受託者」に対し、見直した封印委託制度に関する説明会を開いたり、解説動画を作成したりしている。今後、受託者に不適切な事実が確認された場合は、運輸支局長が「改善命令」や「封印管理責任者の解任命令」などを出せるよう法改正も検討している。鶴田浩久物流・自動車局長が定例会見で明らかにした。



国土交通省は、7月1日から運用を始めた。これに合わせ、自動車ディーラーや業界団体など封印取り付け受託者を対象に、管内運輸支局の担当者らが自動車登録制度や封印委託制度に関する説明会を全国で始めた。ディーラーなどの関心は高いようだ。日本自動車販売協会連合会の各支部などからも開催要望が多く、これまで開かれた説明会では、封印取り付け責任者や封印管理者責任者のほか、経営陣が出席する姿も見受けられたという。

## 国土交通省

### 電子車検証ICタグ一部開放

#### 自動車関連のアプリ想定

国土交通省は、電子車検証についてICタグの一部を開放し、企業や自治体から自由に使えるようにする。顧客や整備履歴の管理、駐車場の割引など自動車に関係するサービスに限る。サービス概要などを公表し、ICタグに組み込むアプリケーションソフトの申請受け付けを近く開始し、2025年度中にサービスが始まる見通しだ。

国土交通省は昨年1月から登録車(排気量660cc超)と小型二輪車、今年1月からは軽自動車でも電子車検証を導入した。A6サイズ相当の厚紙にICタグを貼付したもので、券面には変更登録などによる記録事項の変更を伴わない基礎的情報のみを記載し、現行の車検情報ICタグに記録される。ICタグには、車検情報の記録以外に利用できる約2ギガバイトの空き容量が設けられている。国土交通省はこの空き容量を活用し、企業に多様な自動車関連サービスを開発してもらいたい考えだ。

例えば、新車ディーラーや整備事業者が整備履歴を書き込めるアプリを開発し整備作業を効率化したり、

## 自賠責の電子化

### 国土交通省は、自動車損害賠償責任保険証・自動車損害賠償責任共済証明書(自賠証)を電子化できる対象をすべての自動車に広げる。電子自賠証をスマートフォンなどの端末に携帯することで、自動車損害賠償保障法(自賠法)に定める備え付け義務と提示義務を履行できることとする。「自賠法e-文書規則」を一部改正し、11月上旬に施行する予定。電子自賠証については、電動キックボードなど小型モビリティで車体構造上、書面の自賠証の備え付けが善命令は行政処分にあたる。

国土交通省は、4月、封印取り付け受託者、約2500者に対して実態調査を実施し、8月調査結果を公表した。道路運送車両法に違反する封印の不適切な取り扱いが確認された事業者数は151者あり、このうち4者を「委託解除」に、24者を「6カ月間の委託停止」とした。

国土交通省は、電子車検証によりOS(S(自動車関係手続きのワンストップサービス)の利便性を上げる一方、新たなサービスを加えることで整備事業者の生産性や自動車ユーザーの利便性をさらに高めていく考えだ。

難しい自動車に限り、6月から認められている。自賠証の備え付け義務違反が懸念されるためだ。今回、電子自賠証の対象を広げたのは、保険業界から「すべての自動車で可能として欲しい」との要望を受けたもの。複数の損害保険会社で開発・運用する共同データベースで電子自賠証の交付が可能となったことも理由という。引き続き、書面による自賠証の備え付け・提示も可能だ。

## トヨタ F1マシン開発に参加

### マネーグラム・ハースF1チームと協力合意

トヨタ自動車は、F1ドライバーミューラに参戦するマネーグラム・ハースF1チームと車両開発で協力する基本合意書を締結したと発表した。トヨタ・ガズー・レーシング(TGR)が持つ技術や人材をハースの車両開発に生かす。トヨタは、世界最高峰レースのF1で得た技術や知見を市販車の開発に反映する。TGRの育成ドライバーやエンジニアがハースのテスト走行に参加する。テストで得た走行データはTGRでも蓄積し、「モータースポーツを起点としたもっといいクルマづくり」を加速させる。また、エンジニアやメカニックは空力開発に参加し、トヨタの知見をハースのF1マシンづくりに活かす。富士スピードウェイ(静岡県小山町)で開いた会見で豊田章男会長は「レーシングドライバーは世界で一番速い車に乗りたい。ただ、社長時代に決定したF1撤退で閉ざってしまったことを心の中で悔やんでいる」と話した。



自賠証の備え付け義務違反が懸念される電動キックボード

## 北海道交通安全推進委員会からのお知らせ

### ハンドサインでストップ運動実施中!

北海道、北海道警察、北海道交通安全推進委員会などでは、歩行者とドライバーが相互の思いやりで安全で安心な北海道の横断歩道づくりを目指す「ハンドサインでストップ運動」を実施しています。



交通安全DVDの貸出  
社内での交通安全研修に活用いただけるDVDを無料で貸出しています。運転者、冬道、飲酒運転根絶など、各種テーマに対応しておりますので、お気軽にお問い合わせください。

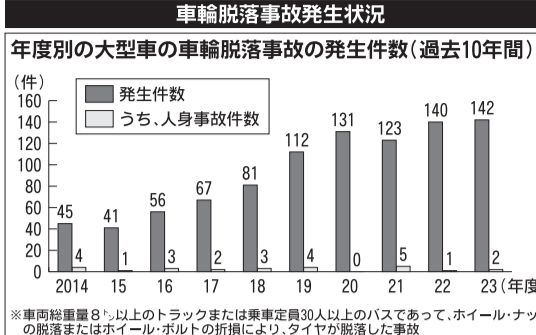


▽お問い合わせ  
北海道交通安全推進委員会  
電話 (011) 221-6666  
(<https://www.slowly.or.jp>)

# 国交省調査 後絶たぬ大型車の脱輪事故 潤滑剤の不適切使用も一因

後を絶たない大型車の車輪脱輪事故について、大きな原因の一つにホイールボルトやナットに「潤滑剤」を適切に使用していない疑いがあることが国土交通省の調査でわかった。冬用タイヤ交換時期に入るため、国交省は10月から来年2月まで「大型車の車輪脱輪事故防止キャンペーン」を展開し、適切なタイヤ脱着作業や保守管理の徹底を呼びかける。

国交省によると、大型車の車輪脱輪事故は23年度に142件起き、過去最多を2年連続で更新した。昨年は11、12月に鳥根県と青森県で走行中の大型車からタイヤが脱落し、近



## タイヤ脱着作業実施者別作業時における不備(2023年度)

| 作業実施者          | 大型車の使用者(80件のうち) | タイヤ業者(32件のうち)          | 整備業者(20件のうち)         |
|----------------|-----------------|------------------------|----------------------|
| 潤滑剤塗布未実施・不適切   | 【40%以上】         | 潤滑剤塗布未実施・不適切【28.1%以上】  | 潤滑剤塗布未実施・不適切【35%以上】  |
| トルクレンチ等不使用     | 【37.5%以上】       | トルクレンチ等不使用【12.5%以上】    | トルクレンチ等不使用【15%以上】    |
| ホイール・ナット等清掃未実施 | 【16.2%以上】       | ホイール・ナット等清掃未実施【6.2%以上】 | ホイール・ナット等清掃未実施【5%以上】 |

※1件に複数の不備もあり  
※車両総重量8t以上の自動車または乗車定員30人以上の自動車であって、車輪を取り付けるホイール・ボルトの折損またはホイール・ナットの脱落により車輪が自動車から脱落した事故  
※各母数は調査できなかったもの含まれているため、各割合は●%以上と表示した  
出典:自動車事故報告規則に基づく報告および自動車メーカーからの報告

くにいた作業員や歩行者が死傷する事故が相次いだ。車輪脱輪事故の6割が冬季に起きている。また、タイヤ交換後1カ月以内に起きる割合が5割を超える。

車輪脱輪事故の推定要因として近年、目立つのがタイヤ脱着時のボルト、ナットのねじ部やISO(国際標準化機構)方式に特有の作業である潤滑剤の塗布をしないことだ。潤滑剤は①かじり、焼き付きを防ぐ②錆を防ぐ③軸力(締め付け力)を効率良く働かせる一などの役割を持つ。

国交省が実施した、タイヤ脱着作業実施者別で不適切な事例をみると、各実施者で共通して「潤滑剤塗布の未実施」または「不適切な塗布」の割合が最も高かった。潤滑剤を用いない場合、安定した締め付けができず、規定トルクで締め付けてもナットが緩んだり、ボルトが折れる可能性があるという。

日本自動車工業会(片山正則会長)による実験結果でも、潤滑剤を塗布しない場合は締め付けを繰り返すたびに、規定トルクに対して発生する締め付け力が徐々に低下すること

がわかっている。ホイール・ナットを清掃し、ねじ部だけではなくワッシャーとの間にも潤滑剤を塗布すると、締め付け力が回復することも確認されている。

冬用タイヤへの交換時期に車輪脱輪事故が増加する傾向を踏まえ、国交省はキャンペーンを通じ、運送事業者やタイヤ専門店、整備事業者に、適切な作業や保守管理の徹底を呼びかける方針だ。

国交省、「車輪脱輪防止検知システム」に2025年度から助成制度を創設

国土交通省は、大型車に後付けできる「車輪脱輪防止検知システム」の購入助成制度を2025年度から創設する。大型車用のタイヤは1本100キロ前後あり、走行中に脱落して歩行者にぶつかると命に関わる。こうした脱輪事故は同省に報告される分だけでも年間に140件ほどある。冬用タイヤ交換時に増し締めを怠るなど作業ミスが多く、注意喚起だけでは事故を減らせないとし、ハード面の対策に乗り出す。

まず、市販の装置を対象にした実証に入り、車輪脱輪防止検知システム

の技術要件などを今年度末までにガイドライン(指針)としてまとめる。この指針を基に、運送事業者を対象とする先進安全自動車(ASV)導入支援制度の枠組みを使い、導入費用の2分の1を助成する方針だ。予算配分などは今後詰める。

市販の装置は、ナットとホイール間にセンサーを挟み込み、ナットの緩みに伴う隙間を検知する「ナット隙検知型」と、センサーを内蔵したナットキャップがナットの緩みによるキャップの回転を検知する「ナット回転角検知型」大きく2種類ある。どちらもナットの緩みを検知すると、運転席のドライバーに警告を出す。

積雪地域のトラック事業者に協力依頼し、準備が整った事業者から順次、実証を始めてもらう。国内大型4社製のISO(国際標準化機構)式ホイール装着車となる。少なくとも数百台で実証し、有効性や使い勝手などを確かめた後、製品の要求仕様などを指針としてまとめる。

脱輪事故を防ぐにはハード面での対策も欠かせないと判断し、補助制度を創設することにした。

## 自動運転「レベル3」アイズオフ走行どこよりも早く

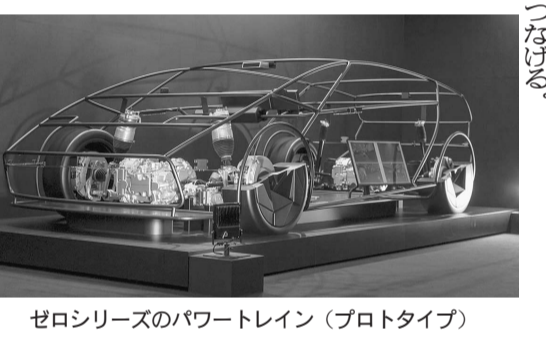
### ホンダ、次世代EV「ゼロシリーズ」から

ホンダは、運転者が周囲を注視しなくても済む「レベル3(条件付き自動運転)」のアイズオフ領域を広げる。2030年までに高速道路で速度を問わずアイズオフできるようにし、その後、一般道でもアイズオフ走行する技術を確認する。電気自動車(EV)の次世代商品群「ゼロシリーズ」には、無線によるソフトウェア更新を採用し、レベル3機能を段階的に顧客へ提供していく。レベル3は製造物責任(PL)など技術以外にも難易度が高く、「レベル2(高度な運転支援)」の高度化にとどめる同業他社も多い。ホンダはレベル3の「正常進化」で差別化を目指す。

栃木県芳賀町の研究開発拠点で開いた技術説明会でこうした方針を示した。レベル3の進化に向けては、センサーの高精度化に加え、人工知能(AI)の活用を進める。例題として「教師データ」に頼らなくても判断制度を高める手法に熟練ドライバーの行動モデルを組み合わせた独自のAIを米スタートアップのHeim.ai(ヘルム・エーアイ)と共同開発する。「教師なし学習」により、短期間でレベル3の提供エリアを拡大していく作戦だ。さらに30年代以降はインフラとの協調制御を視野に入れ、自動運転技術の高度化を

ホンダは21年、リース販売した「レジェンド」に「ホンダセンシング」の「トラフィックジャムパイロット」として世界初のレベル3機能を搭載した。しかし、アイズオフは国の「自動運行装置」基準に準拠する形で高速道路の渋滞時(時速30キロ以下で動作し、同50キロ以上で解除)に限って動作するものだ。その後、BMWはレベル3走行を時速60キロ以下までアイズオフ行けるようにし、中国・吉利汽車傘下のZEEKR(ジーカー)も25年をめどにレベル3を実用化する方針を明らかにしている。

ホンダ電動事業開発本部の秋利祐BEV開発センター所長は「誰よ



りも早くアイズオフを全域に広げていく」と語った。ホンダ車が関係する交通事故の死者数を30年に半減させ、50年にゼロとする目標の達成につなげる。

## 現場探信

新車ディーラーなどでも、若手が退職理由を明らかにすることなく、辞めてしまうケースが増えているようだ。あるディーラーの幹部は「早め理由が分かり相談できれば、対策を打って辞めずに済む可能性もある」と、若手社員とのコミュニケーションの重要性を改めて感じている。

最近、社員同士のコミュニケーションの場として「部活」を立ち上げる動きが増えている。同じ趣味同士の社員が部室を越えて仕事抜きで交流する場合は、好評だという。少し前は「仕事後まで会社の人が居たくなる」との意見が強かったが、風向きが変わってきたようだ。

**「しんらい」と「あんしん」をお届けします。**  
北自共の総合自動車共済・自賠償共済

**全道に安心のサービス拠点**

**1事故1担当者制**  
1つの事故に対して1人の専任担当者が担当

**充実のロードサービス**  
24時間365日対応・等級に影響なし

**安心の事故対応力**  
事故解決の専門家が素早く対応

あんしん・ゆとり・たすけあい みなさまのカーライフをサポートします!!

**北海道自動車共済協同組合**  
〒065-0030 札幌市東区北30条東1丁目3-2

**011-721-5233** FAX:011-721-0801  
電話の受付時間 平日9:00~17:15 <https://www.hokujikyo.jp>

新しい技術と信用のトップメーカー

自動車ナンバープレート

**小松自動車工業株式会社**

札幌営業所 札幌市東区北30条東1丁目1-1  
及工場 〒065-0030 電話 011-752-8592(代表)

本社 東京都品川区東品川4丁目8番12号  
及工場 〒140-0002 電話 03-3474-0211(大代表)

# 帯広



## 「十勝の住民と考える安全・安心の集い2024」を開催

帯広地区安全運転転管理者事業主会(など)

「十勝の住民と考える安全・安心の集い2024」(帯広地区安全運転転管理者事業主会、帯広地区防犯協会連合会主催)が9月26日、幕別町



冒頭のあいさつで帯広地区安全運転転管理者事業主会の石原英樹会長は「本日の集いを契機に、皆さまの尊い命と幸せな暮らしを決して失わないよう、地域で交通安全と犯罪防止を真剣に考え、取り組みを進めていく」と述べた。住民代表として、帯広地区安全運転転管理者協会の佐藤秀樹副会長が「『私達の十勝を私達が守る』を合言葉に、地域の連帯感を高めて共闘し、安全で安心な地域の実現を目指す」と宣言した。

その後道警音楽隊とカラーガード隊によるコンサートが行われ、SM

## 学童保育所に交通安全グッズを寄贈

帯広地方自家用自動車協会

一般社団法人帯広地方自家用自動車協会(徳井裕昭会長)は音更町内の学童保育所に通う児童に反射材リ



ストバンドを寄贈した。8月22日に徳井会長と帯広警察署の塚玄州交通第一課長が、

交通安全に貢献する自動車共済!!

北海道自動車共済 協同組合帯広支部

0115-5331-3400

APの「夜空アムコウ」や布施明の「君は薔薇より美しい」などの楽曲の生演奏やダンスパフォーマンスを披露。コンサートの合間に特殊詐欺犯罪などに関する音楽劇を交え、犯罪防止に向けた対策をアピールした。

## 北海道冬の交通事故概況

北海道特有であるエゾシカが関係する交通事故の件数増加が深刻となっている。2023年の物件および人身事故発生件数は5287件(前年比807件増)と7年連続で最多記録を更新。調査を開始した04年の事故件数と比較すると、4.5倍にまで膨れ上がり、死亡事故も2件発生している。昼夜別の発生状況では夜間が83.1%と圧倒的に多い。月別発生件数では、10月(全体比23.0%)が最も多く、次いで11月(同17.2%)が多い。死亡事故は、2件ともにカーブを進行中に鹿が飛び出してきたことによるもので、この時期は特に注意が必要だ。

10月27日時点での道内交通事故発生件数は7006件(前年比166件減)、死者数は85人(同18人減)となっている。また、都道府県別死者数では北海道は全国6位となっており、道警は各種取り締まりの強化や交通安全抑止活動を積極的に行い、事故発生に歯止めをかける狙いだ。

冬季間の事故状況をみると、昨年度冬季間(23年11月～24年3月)の交通事故は前年同期比117件増の651件が発生し、傷者数同177人増801

| 区分       | 発生件数 |     |     | 傷者数 |     |     | 死者数 |    |    |
|----------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|
|          | 当年   | 前年  | 増減  | 当年  | 前年  | 増減  | 当年  | 前年 | 増減 |
| 総数       | 651  | 534 | 117 | 801 | 624 | 177 | 5   | 7  | -2 |
| 死亡事故     | 5    | 7   | -2  | 7   | 3   | 4   | 5   | 7  | -2 |
| 札幌方面     | 491  | 404 | 87  | 601 | 468 | 133 | 4   | 3  | 1  |
| 函館方面     | 25   | 29  | -4  | 29  | 36  | -7  |     |    |    |
| 旭川方面     | 68   | 55  | 13  | 95  | 62  | 33  |     | 4  | -4 |
| 釧路方面     | 50   | 33  | 17  | 56  | 39  | 17  |     |    |    |
| 北見方面     | 17   | 13  | 4   | 20  | 19  | 1   | 1   | 1  | 0  |
| 人対車      | 11   | 7   | 4   | 12  | 7   | 5   |     | 1  | -1 |
| 自転車対車    | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 2   | 5  | -3 |
| 正面衝突     | 95   | 74  | 21  | 136 | 87  | 49  |     |    |    |
| 追突       | 366  | 327 | 39  | 443 | 381 | 62  |     |    |    |
| 出会い頭     | 71   | 51  | 20  | 94  | 58  | 36  |     |    |    |
| その他      | 69   | 56  | 13  | 75  | 69  | 6   |     |    |    |
| 小計       | 601  | 508 | 93  | 748 | 595 | 153 | 2   | 5  | -3 |
| 車両単独     | 38   | 19  | 19  | 40  | 22  | 18  | 3   | 1  | 2  |
| 踏切       | 1    | 0   | 1   | 1   | 1   | 0   |     |    |    |
| 4.0km以下  | 525  | 436 | 89  | 639 | 510 | 129 |     |    |    |
| 5.0km以下  | 74   | 55  | 19  | 96  | 63  | 33  | 3   | 3  | 0  |
| 6.0km以下  | 37   | 27  | 10  | 43  | 32  | 11  | 1   | 2  | -1 |
| 7.0km以下  | 9    | 8   | 1   | 13  | 8   | 5   | 1   | 1  | 0  |
| 8.0km以下  | 5    | 7   | -2  | 4   | 10  | -6  | 2   | 1  | 1  |
| 9.0km以下  | 1    | 1   | 0   | 6   | 1   | 5   | 1   | 1  | 0  |
| 10.0km以下 |      |     |     |     |     |     |     |    |    |
| 12.0km以下 |      |     |     |     |     |     |     |    |    |
| 乾燥       |      | 1   | -1  |     | 2   | -2  |     |    |    |
| 凍結       | 544  | 459 | 85  | 674 | 536 | 138 | 4   | 6  | -2 |
| 積雪       | 107  | 74  | 33  | 127 | 88  | 41  | 1   | 1  | 0  |
| 非舗装      | 302  | 252 | 50  | 358 | 287 | 71  | 1   | 1  | 0  |
| 交差点      | 181  | 164 | 17  | 218 | 192 | 26  |     |    |    |
| カーブ      | 26   | 17  | 9   | 34  | 22  | 12  |     |    |    |
| 小計       | 509  | 433 | 76  | 610 | 501 | 109 | 1   | 1  | 0  |
| 交差点      | 40   | 37  | 3   | 54  | 46  | 8   |     |    |    |
| 直線       | 66   | 38  | 28  | 92  | 45  | 47  | 4   | 4  | 0  |
| カーブ      | 36   | 26  | 10  | 45  | 32  | 13  |     | 2  | -2 |
| 小計       | 142  | 101 | 41  | 191 | 123 | 68  | 4   | 6  | -2 |

人、死者数同2人減5人と死者数は減少したが、事故件数と傷者数は大幅に増加している。新型コロナウイルス感染症が5類に移行して初の冬季シーズンで人流の増加が件数増加に繋がったと考えられる。

過去5年間の道内スリップ事故の統計を分析すると、事故類型では追突が突出して多く、全体の半数以上を占めている。死亡事故は正面衝突(24人)が最も多く、次いで車両単独(16人)となっている。発生時間帯は8～10時が最も多く、次いで16～18時が多い。どちらの時間帯も追突事故が多く、それぞれ6割近い件数に上る。通行目的で見ると、業務

冬季シーズンの初めは、特に路面状況が変化しやすいことや、ドライバー自身が雪道の運転に慣れない状況もあって事故が発生しやすい。シーズンに入る前に改めて冬の運転に意識を切り替えていきたい。また路面凍結や悪天候などにより、衝突被害軽減ブレーキといった安全装置も正常に作動しない恐れもある。安全機能を過信せず、急な操作をしない余裕のある運転が求められる。

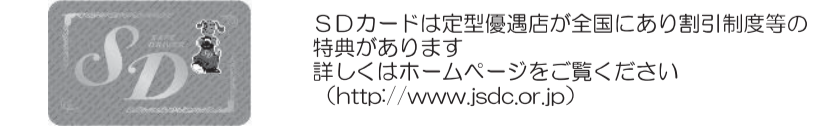


「ジープファミリーの末っ子は、『正義の味方』として誕生した」と話すのは、ステランティスジャパンの渡邊由紀プロダクトマネージャー。9月下旬から販売を始めたジープブランド初の電気自動車(EV)「アベンジャー」のことだ。日本語に訳すと「不正」と胸を張る。

「悪事を行っていた人に報復する人」という意味。ファミリーの「お父さんは『グランドチェロキ』で、その末っ子になる」としている。ちなみに、「ラングラー」はおじさんに当たるという。一番の売りは収納スペースで、「センターコンソールには女性のハンドバックやリュックサックがすっぽり入る」と訴えた。収納容量は26リットルで、「ただ美しいだけではなく、機能性を考慮して車を造った」と胸を張る。

## 【安全運転は運転経歴証明書から】

- ◎ 交通事故・違反防止に対する職場の連帯感が生まれます
- ◎ 交通事故処理等に費やす無駄な労力、保険料の減少も期待できます
- ◎ 必須アイテムとして多くの企業が安全運転管理に利用しています
- ◎ 1年以上無事故無違反者にはSDカードが交付されます



申請方法 代表者が委任を受けて一括申請することが出来ます。申請手数料1通670円です。詳しくは、下記事務所にお問合せ下さい

自動車安全運転センター北海道釧路方面事務所  
〒085-0018 釧路市黒金町10丁目5の1  
北海道警察釧路方面本部1階 TEL0154-25-7171

## 運転適性診断をご利用ください ～ 事故防止のために ～

自動車事故を防ぐには、まず運転に繋がるくせを知ることが大切です。そのために、ぜひ「適性診断」をご利用ください。カウンセリングやアドバイスを行うものも用意しております。

- 診断の種類等
- ◆ 一般診断(診断のみ) : 2,400円 …… 所要時間 約60分
  - ◆ カウンセリング付き一般診断 : 4,800円 …… 所要時間 約90分
- ★ 1日4回実施しており、予約制となっております。

《詳しくは》  
独立行政法人 自動車事故対策機構釧路支所  
〒085-0018 釧路市黒金町7丁目4番地1 太平洋興発ビル2階  
電話 0154-32-7021へ ホームページ「ナスバ」で検索  
専用駐車場はありませんのでお車でお越しの際は、近隣の有料駐車場をご利用下さい。  
なお、駐車料金はお客様のご負担となりますのでご容赦下さい。

# 企業の不正リスク調査白書

## デロイトトーマツまとめ

デロイトトーマツは「企業の不正リスク調査白書」をまとめた。前回調査(2022年)に比べ、過去3年間に起きた不正が「6件以上」の企業の割合が5割増え14%を占めた。自動車業界でも近年、型式認証不正が相次いで発覚したほか、下請法(下請代金支払遅延等防止法)違反により、公正取引委員会から勧告を受けた。サイバー攻撃で事業に影響を受けたり、情報が漏れいしたりといった不祥事も広がる。防止には何が必要か。

この調査は2年に1度実施しており、今回は上場・非上場合わせて714社から回答を得た。

不正を種類別で見ると、国内本社と関係会社は「横領」(63%)が最も高い割合を占めた。次いで「会計不正」(35%)、「情報漏えい」(25%)、「データ偽装」(13%)と続く。

一方、海外関係会社では「横領」(63%)がトップだが、次が「サイバー攻撃」(30%)だ。デロイトトーマツファイ

## 十勝で「2024 N-ONEオーナーズカップ」

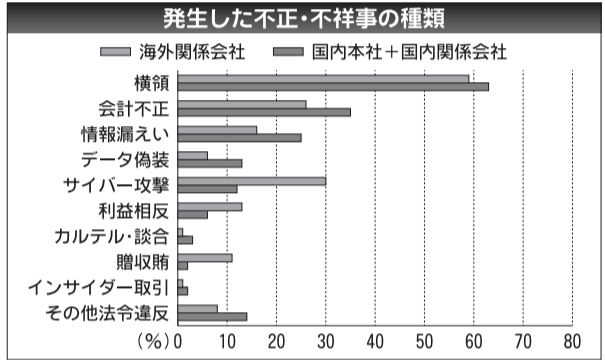


「2024 N-ONEオーナーズカップ」の第8戦が十勝スピードウェイ(更別村)で行われた。道内外

## 42台が熱戦展開

のチームのほか、道内のホンダ系ドライバーも複数出場。出場した全42台が熱戦を繰り広げた。

ホンダの「N-ONE」(エヌワン)によるワンメイクレースとして、全国各地の主要なサーキットで開催され、北海道でも年に1戦開かれる。今年は道内のホンダ系ドライバーから、ホンダモビリティ北海道の「HC北海道WRDN-ONE」(ドライバールーネ田勇志)、ホンダカーズ南札幌の「ホンダカーズ南札幌N-ONE」(同菅原増佳)、ホンダクリオ帯広の「ホンダカーズ帯広中央N-ONE」(同加藤尚



## 東京丸の内15、16日 電動車紹介イベントを開催

日本自動車輸入組合(JAIA、上野金太郎理事長)は、輸入電動車の魅力を一般客に紹介する「JAIAカーボンニュートラル促進イベント」を11月15、16日に

会場には、チームを派遣したドライバー各社の社長や同僚らも応援に駆け付け、熱い声援を送った。決勝レースでは1周目に車両が横転するアクシデントが発生するなど、熱い争いを展開。39台が完走した。



昨年の神戸・旧居留地でのイベント

「業務プロセスの未整備」だった。不正の早期発見や予防で取り組むべき施策としては「研究教育」(53%)、「現場レベルでの内部統制の強化」(48%)、「リスクアセスメントの強化」(41%)が高い割合を占めた。

社外取締役の選定理由として最も重視されるのは「企業経営の経験」で、「危機対応」や「リーダーシップ」、さらに人事・労務面の能力はあまり重視されていない。

一方、危機管理体制については、「整備している」と回答した企業は86%で、内訳では40%が「常時整備」、46%が「不正・不祥事発覚時に整備」とした。この2つの回答のうち「適切に運用されていない」と回答した企業は約1割だった。

危機管理体制を適切に運用するための平時の取り組みとして「ガイドラインやマニュアルの作成」(41%)、「社外取締役との定期的な意見交換」(31%)、「危機管理専門の弁護士との顧問契約、定期的な意見交換」(23%)などの回答が挙がった。

中島氏は、不正の防止や有事対応の優先施策として「リスクアセスメントの可視化」と「経営者監視を含む危機対応ガバナンス」を挙げた。

リスクアセスメントについては、法令把握のほか、海外拠点にも責任者を設置することが重要とした。危機対応ガバナンスでは、社外取締役や監査役の役割を再定義したり、不正が発覚した際などの指揮系統や初動などの再設計、有事を想定したマニュアルやトレーニングなどが必要と指摘した。

東京丸の内地区で開催すると発表した。会員各社が最新の電動車を展示するほか、同乗体験の機会も設ける。国内市場における電気自動車(EV)販売の現状や、将来動向などをテーマとしたトークセッションも実施する。一般向けの電動車イベントは2023年の神戸に続き2回

11月30日に日本自動車整備振興会連合会(日整備)が主催する「第24回全日本自動車整備技能競技大会」が東京ビッグサイトで開催される。「コロナ禍の影響で延期した前回大会を除き、例年は2年に1度開かれる整備業界の一大イベントである◆全国各地の自動車整備振興会の代表チーム(2人1組)が出場し、日ごろの業務で培った自動車整備の知識・技術や入客への説明スキルなどを競い合う。目指すは「日本一の整備士」だ◆競技中の選手らの一挙一動からは、緊張はもちろんだが自らが備える知識や技術への自信も見る者に伝わってくる。

目で、輸入電動車への関心を高めるのが狙い。

当日は丸の内地区の行幸通りのほか、周辺の丸の内ビルディング(丸ビル)やKITTEテラスの屋外スペース、東京ビルトクIAガレリアに車両を展示。出展車両はインポーター12社から、計37台となる見込み。この中には、23年秋の「ジャパンモビリティショー2023」で公開したモデルや、東京マラソンの先導車も含まれるという。

部品のスタッフが出場して点検・整備の知識や技術力、顧客対応品質を競い合った。19日はサービスマン種目をメインにライブ配信を行った。自動車メーカー各社で整備技能競技大会は行われているが、一般にも大会模様を公開したのは非常に珍しい試みだ◆整備士の誇りと自信を持って競技に挑む姿を、一人でも多くの人に伝える機会があってもいいのではないかと、日野の「挑戦」を見て、実感したことがた。

11月30日に日本自動車整備振興会連合会(日整備)が主催する「第24回全日本自動車整備技能競技大会」が東京ビッグサイトで開催される。「コロナ禍の影響で延期した前回大会を除き、例年は2年に1度開かれる整備業界の一大イベントである◆全国各地の自動車整備振興会の代表チーム(2人1組)が出場し、日ごろの業務で培った自動車整備の知識・技術や入客への説明スキルなどを競い合う。目指すは「日本一の整備士」だ◆競技中の選手らの一挙一動からは、緊張はもちろんだが自らが備える知識や技術への自信も見る者に伝わってくる。

**DANCHI**  
Oshiro Danchi Driving School

免許とるなら  
やっぱり「第一」だね!

免許は「第一」におまかせ!

**帯広第一自動車学校**  
北海道釧路方面公安委員会指定 〒080-0832 帯広市稲田町東1線12番地  
お申し込みお問い合わせ **0120-48-4611**  
フリーダイヤル

困ったときは、**JAF**におまかせ!!

お近くのJAF直通電話は **#8139** (有料)

クルマの路上トラブルなど、困ったときは、全国ネット年中24時間体制のJAFにお任せください。

会員証は必ず携帯してください。提示がなければ、会員としての特典がご利用できません。

お申込は、自動車ディーラーJAF指定工場・JAF取扱店又は支部窓口へ

一般社団法人 **日本自動車連盟(JAF)帯広支部**  
〒080-0038 帯広市西8条北1丁目14-1  
☎(0155)26-8139・26-0260  
(ロードサービス専用) (会員総務専用)